

第2日目(2009/04/08)

終日バス移動 - 湖水地方各所

9時に出発して、まずは1時間程度移動してウインダミア湖畔に。
ここからは蒸気機関車で20分程乗車するそう。

蒸気機関車はボランティアの人々が運営しているそうですよ。
古いものを大事に使うイギリスならではのようです。





下車するとすぐそこはフェリー乗り場。フェリーは 40 分程度乗船。



下船するともうバスが。(笑)

再びバスに乗車して、日本人が年間7万人訪れるという
ピーターラビットで有名なビアトリクス・ポター世界館へ。ここで昼食。

イギリスの家庭料理の代表的なものという事でコテージパイだそうです。

下にコンソメとグレイビーソースで味付けしたひき肉、たまねぎ、人参のみじん切り。
上にマッシュポテトをのせて、チーズをかけてオーブンで焼いたものです。
素朴だけど、ちゃんと作ると2時間かかるそうで。

美味しいけど、肉の食べられない人はダメですね。(笑)
今回の旅行では食べたものは基本的に撮影していません。
ビジュアル的にそそらないのと、ツアーなので遠慮しました。



40分という見学時間も厳しいけど、中身も厳しかったかな。
次にライダルマウント庭園に移動して、ここでお茶。紅茶と手作りのスコーンでした。

ライダルマウントって何さ、と後で絶対思うので備忘録。

ロマン派自然詩人の旗手であったワーズワースという人が
妻子や姉たちと1813年から亡くなるまで37年間過ごした邸宅で、
現在も曾孫とその家族が住居として使っているそうです。いまだに住んでいるってのが凄い。

庭園はワーズワース自身により設計され、ウインダミア湖とライダルウオーター
という小さな湖にも面し、斜面を上手に使い設計。

よく手入れのされたガーデンというより、自然の風景を生かして作庭された
いわゆる風景式庭園(ランドスケープガーデン)というものだそうですよ。
ちょうど雨で足場が悪く、のんびり回れなかったですけどね。



パンフレットには水仙が描かれていますね。

次はダブ・コテージ(Dove Cottage)。

ワーズワースが若い頃(1799~1808年)妹のドロシーと妻と住んでいた小さな家で、ここで多くの名作が生まれた。内部は頭がつかえそうなくらい天井が低く家具も質素。晩年になって名声を得てから住んだ家「ライダル・マウント」と比較してみると面白いとの事。時間の都合で外からだったけど、本当に小さいです。家が面する通りも小さい。



次にグラスミア村へ。ここにある St.オズワルド教会にワーズワースの墓があるそうです。その隣にある有名なジンジャーブレッドのお店。150年の伝統がありサラ・ネルソンの秘伝のレシピに従って作られているとか。そうそう、イギリスの交差点って信号機ないんですよね。大都市はともかく、地方だとそんなものかしらん。





湖水地方名物らしいのでジンジャーブレッドは僕らも購入して食べてみました。
まあ、クッキーですね。名物に美味い物なしは万国共通かなあ。

ホリディ・イン・ランカスターに戻ってきて、夕食はお魚がメインでした。
夕食時は必ず飲み物を頼みました。僕はビール、かみさんはレモネード。